



東 北 方 面

金華山道路改修

牡鹿半島の開發策は金華山道路の改修に俟たなければならぬといふので、各町村では相當工費を負擔して事業の速成を期さうと云つてゐるが、此金華山道路はひとり參拜者、遊覽者だけの便宜から改修するのではなく實は渡ノ波、萩ノ濱、大原、鮎川等の各町村を聯絡して開鑿進展させる鍵となるべきものであるから、前記各關係町村

以外に石ノ巻町を始めとして、女川、稻井蛇田の二町二村も多少の負擔をして貰ひたいと云ふので、過日第一回町村長會議を石ノ巻町に開いて大體次の如く負擔方針を決定した。

十七年度	萩濱道路壹萬參千七百七拾六圓
十八年度	山積峠改修並鑿道開鑿壹萬九千八百七拾四圓
十九年度	小網倉八千五百六拾五圓、清水田四千八百九拾圓、大原五千參百七拾八圓
合 計	五萬壹千八百八拾參圓

右道路の改修は曩に大正二、三年頃縣の

補助金と關係町村の負擔とを以て一部を改修したが、大難關である大原、萩ノ濱間の鑿道開鑿等の支障から其の後手を入れないで放任せられ、過般産業開發道路として府縣道に編入せられたものであるが、昇格以來今日まで原状のまま放置されてゐるのは縣の誠意がないと怨嗟の聲も擧るやうになり、この際補助によつて目的の貫徹を期することになつたわけである。然し今回の道路改修並鑿道開鑿等の總工費は不明であるが、約貳拾萬圓でその中、町村負擔が前記合計五萬壹千八百八拾參圓と決定したので、結局拾四萬八千餘圓は縣の負擔となるのであるが關係町村の負擔五萬壹千餘圓はその半分を關係四ヶ町村が負擔して、石ノ巻町、稻井、女川、蛇田の各町村は他の半分を負擔することに大體決定を見たので縣に對して至急起工せられる様奔走中である。

晝夜兼行で

模範道路の築造開始

仙臺市芭蕉の辻から名掛町停車場前通り迄の混泥土模範道路は、關係各町の寄附金が纏まつたので、十月十四日から工事に着手したが、大町五丁目東一番丁角から芭蕉の辻までは寄附金が纏らないので、後廻しとし、芭蕉の辻から東一番丁迄は下水道敷設しないので、これも近日中に起工することとなり既に工事の請負契約を締結したこの模範道路は仙臺市最初の試みで大町五丁目から名掛町まで延長四百五十間で、工費約參萬圓を要するか、混泥土の鋪装工事一坪十七、八圓を要する。この工法は路面に混泥土をたゞき込むのであるから、工事中は車馬の通行を禁止するが同町は店舗軒を並べてゐるため人の通行を禁止すること、營業上妨げとなるから禁止しないこととし、場所柄として工事は午後十二時を交代

時間として晝夜兼行で施工を急いでゐる。

混泥土道路を造る

白石町の計劃

宮城縣刈田郡白石町宇壽町では、道路改善の必要を認め、過日同町有志は公會堂に集合して協議し、同町内の道路を一坪當り拾五圓の割合で總工費壹萬六千圓を以て、混泥土で鋪装することに決定したが、總工費の四分の一を町で負擔し、残りの四分の三を縣から補助して貰ふことに決議し、實行委員を擧げて、運動に着手することになった。

信 越 方 面

主務省で首をひねる

道路改修の起價

新潟縣本年度に於ける縣債の認可申請中

のものにして、今尙主務省で、調査中のものは、災害復舊費の三十五萬圓、萬代橋架け替百六十萬圓、河川改修、道路改修の百五萬圓と随分澤山あるが、大體は遠からず認可さるべき筈だけれど、百五萬圓の河川道路改修費丈は引かゝつてゐて或は不認可になりはしまいかと、あやぶまるゝ程、主務省で首を捻つてゐる——と云ふのは前年度に於ては河川、道路改修費は一般財源より支辨して居るのに本年度に限り同様のものを起債に仰ぐのは繼續費の性質上取扱ひを二重にするものである——と云ふにあるものゝ様だが、若し不認可の曉には同費中河川改修費七十萬圓は別としてるので、道路に關する三十萬圓丈は、何とかして豫算中から、捻り出さればならぬ、そうなれば勢ひ豫算の更正を行つて本年の事業中、中止打切をせねばならぬものが出来て來ることになる、併し切り詰めた縣の豫算であるから何れも緊急なものばかりで何れを打

切つても可なり大きな苦情が何處から出なければならぬので、目下方を極めて諒解により認可を得ようと努めてゐる、或は案じたりは生むか易いかも知れないけれど、當面の大問題として縣では苦心慘憺してゐるのは事實である。

東海方面

十王町傳馬新町

間の道路擴張

岡崎市弘得通り東部十王町から傳馬新町に至る沿道住民は同所の前通りを、弘得通りと同様に、三間幅に擴張方を希望し、其の旨市當局へ此程願ひ出たので、市では十月十一日の市會終了後、議員の協議會に提案し協議する處あつたが、沿道住民の意見では右道路に要する、敷地だけは無償寄附するから、地上物件の移轉料は市が負擔して

工事をやつて欲しいと云ふのであるが、市でも近來此種の道路改修希望が頗る多く、敷地代は勿論移轉料も全部町で負擔するから改修して呉れとか、金を寄附するから着手して呉れとか云つて来る者許りで、現に八幡町の如き一萬圓を寄附するから、本町へ眞直ぐに道を開いて呉れと云つて來て居り是等の方さへ未定になつてゐる矢先だから希望される儘に、前後を取違へる事は出來ないが、前記道路は附近下水道の築造工事に伴ひ土石が多量に出て來るから、工事も比較的、手輕に出來ると云ふ利益があり隨つて、他よりも施工上の可能性が過分にある譯だが、何れにしても決定する迄は相當の時日を要するだらう。

大垣都計道路網

大垣市の都市計畫道路網については、區域内全般にわたる野外測量を終り、目下製圖中にあるが、大垣市當局に於いて、これ

に對して相當意見があるといふから、岐阜縣都計委員會に於ても、岐阜市のそれのごとく市當局とのみ打合せ立案するやうなこゝに出でず、市會の意見などを徴し、然る上、最後の案を立て、内務省へ内申する意嚮なるものと様であるからおのづと多少決定が遅延するであらう。

近畿方面

大大阪をかざる廣路

愈々路面工事を始める

大阪市の都市計畫、廣路御堂筋線（幅員二十四間）のうち第一期事業に屬する梅田阪急電車乗場前から、梅田新道までは兩側家屋の立退は既にこの程完了し、電車軌道の改良地下埋設物整理工事等も、すつかり出來上つたので、市ではいよいよ廣路の路面工事を施行することとなり、七日の起工

式から引續いて、起點の阪急前から、歛を入れはじめることになつた、この廣路は近く改築される大坂驛を中心に市の北から南へ一直線に突つ走らうとする大縦貫線の一つであるだけ、交通文化の上から、又街路の美觀といふ點から、これが路面設計には相當研究を重ねたものである其の設計をいふと。

幅員二十四間の中央二十尺は従前どほり市電の軌道敷に充て、その兩側十八尺づゝを高速車道、次ぎの兩側十八尺づゝを緩速車道、更に其の外圍に残る兩側十八尺づゝを歩道といふことにし、高速と緩速兩車道の中間と緩速車道と歩道の中間とな區切つて街路の風致を添へるため都合四列の並木帯を設けて、それへプラタナスを植ゑつけ、そしてこの並木帯には電氣局の考案に成る無数の街路照明燈をとりつけようといふのである。

この路面工事は、本年度中に第一期の分

だけを完了し、次いで梅田新道から大江橋までといふ順序で、繼續年度を逐うて二十年度までに梅田から、難波までの豫定工事全部を完成する筈であるか、これと同時に高速電車の地下線は梅田新道から、廣路を南へ走る計畫である、この廣路の完成は大坂市を永遠に飾る最も大きな「誇」の一つとなるわけである。

大阪府郡部の

交通狀勢調査

大阪市内の道路は都市計劃の實現に伴つて、漸次改良されてゐるが、郡部に行くともだゞ一般車馬の通行の困難な箇所が澤山ある。一方自動車による運輸は日一日と激増するので道路改良の切實を加へて來た。現在大阪府下には國道二線延長十六里餘府道百九十三線延長三百二十四里餘に涉つてゐるが、國道は別として府道中には根本的に改良を要するものが多い。其の基本調査

として大阪道路改良會では、昨年の七月二十一日から三日間及び十月二十二日から三日間、道路の交通狀勢調査を行つて綿密な統計表を作成したが、一日を平均して一番歩行者の多いのは、大坂池田線中の阪急停車場線分岐點東寄の五千百六十六名、池田龜岡線の池田停車場線交叉點北寄の三千七百三十名、池田停車場妙見線の吉川停車場前東寄の二千八百二十六名等で、二千以上の歩行者のある道路は此の外大坂池田線三國橋北詰、東能勢吹田線東海道地下道、線南郡麻生郷村界、淡輪加太線多奈村谷川港の人家南外れ、柏原富田林線新菅村町家北外れがある、その反對に最も歩行者の少ないのは、北河内郡稻田島飼分岐點の六十一人、豊能郡千ヶ畑池田線分岐點の六十八人などと云ふのである。自動車、自轉車の交通量は全體に於て歩行者數に比例してであるが、自動車の一番多いのは高槻龜岡線と町村道庄所眞土線との交叉點の百五十三臺を

筆頭に吉川停車場前の九十八臺、長野大津線交又點の八十二臺等が主なるものであつた。尙道路を一番損じたる通行車輛重量から見ると富田林界線分岐點の二十一萬二千二十貫、長野大津線交又點の二十萬九千八百七十七貫、次は豊能郡庄内村三國橋北詰、界市東港町、泉北郡石津停車場前等が主なるものであつた。

阪神間に自動車

専用道を新設計劃

阪神國道改修工事は追々進捗して、その一部分は既に自動車の交通を許すほどになり、本年度内には全部の工事を終る豫定であるから、阪神間の交通運輸上幾多の障害が取除かれることになるが、今日までの交通増加率と沿道の發展状態から推して、この大國道も將來不足を訴へる時があるに相違ないといふので、一部では國道上に徐行電車を敷設せしめることを中止して、これ

を自動車専用道路に充てるがよいといふものもあるが、既に軌道を敷設すべく工事も着手し、又電鐵會社の負擔金二百萬圓も決定した後であるから、今更これを覆すわけにも行かぬので、新に阪神間を連絡する特殊の自動車専用道路開設の議が起つてゐる、それは阪神兩都市及沿道に直接の關係がある阪神電鐵或は阪急電鐵が、出來れば特定の會社をして縣の監督の下に、道路を新設させ營業上から得た利益でこの工費を償却させ、資金の償却が全部済んだ後には設備全部を縣に寄附させ縣で維持、修繕をしやうといふので、路線は阪神、阪急兩電鐵の中間が適當であらうと兵庫縣土木課で調査の準備をしてゐる由。

明年度から着手される

姫路市の國道改修工事

數年來懸案となつてゐた姫路市内縦貫國道（米田町、平野町間）改修工事を、明年

度から着手してほしいとの陳情書が姫路市長から兵庫縣當局へ提出されたが、右の改修工事は四ヶ年繼續事業として、明年度から着手することとして縣當局では既に此の豫算を要求して居る。この工事に要する總經費は八拾五萬圓で、用地費は六拾萬圓工事費は二十五萬圓であり、用地費中の三分の一即ち、二拾萬圓を姫路市に於て、引受けることになつてゐるが、此の改修用地中には約拾萬圓に相當する市有地があるので之を提供すると實際負擔は約拾萬圓位である。尙繼續事業の明年度豫算要求額は約拾貳萬五千圓である。

中國方面

飯室道路修理

難工事も完全に終了す

廣島縣安佐郡飯室村にては、本年も昨年

と同様道路共進會に、加入することとなり、同村文化會員、軍人會員、青年團員、消防組員等八百餘名は、十月一日村内縣道三里を十九區に分ち、午前七時より修理工事に奉仕したが、同村は廣島、濱田間、廣島加計間幹線道路交叉點で、毎日自動車の往復八十回、荷馬車の往復百餘臺に上り、特に有名なる幕内峠があり、修理工事甚だ難澁であつたが各區とも互ひに援助し村長、駐在巡查、消防組頭、軍人分會長、青年團長等村内を馳せ廻りて、監督督勵に努め、さしもの難工事も、眞に涙ぐましい程の成績を收め午後六時全く終了した。因に同村は近來役場學校を始め他の各團體共に、非常に緊張し着々として諸種の事業を完了しつゝあるので、村民の喜び一方でない。

縣案の難道路改修

廣島縣深安郡御野村宇名越から、竹田村轟に通ずる村道は、名越里池から、迂回し

其の上急坂がある爲め危険此上なく、度々人畜等の損害があるので、之れが改修は多年の懸案であつたが、今回村有志の熱心な努力に依り同部落民、平野下組並青年團員總出にて皇太子殿下中國行啓記念事業として、里池から直線に六尺幅の新道を改修したが、右工事箇所は竹藪が二ヶ所ありまた畑を一丈程切り開く等なか／＼難工事であつたが、必死の努力の結果漸く出来上つた。これが爲め交通上從來の危険なく地方民の益する處多大である。因に地所中竹藪を安原又右衛門氏が、畑は阪本作三郎氏が寄附されたのである。

三津口町

青年團の縣道大修理

廣島縣賀茂郡三津口町青年團は、昨年廣島縣第一回道路共進會に於て一等賞を得たが、本年も昨年に増して、優良なる成績を挙げつつあるが十月七日午前七時團體的訓

練養成の目的で瑞雲寺前に二百十四名の團員を召集して、これを二隊に分け縣道二十町の修理に着手し、先づ道路耳草の除去、次に道路面全部二寸厚さに眞砂土を敷き道路面を一變して午後六時終了を告げ更に來る三十日第二回他の縣道修理奉仕を實施することを決議して散會した。

九州方面

宮崎市の道路網

宮崎市の道路網は内務省都市計劃技師の設計により完成され、市會の認定を得て藝に發表されたが、地元關係方面の市民から速かに開鑿事業を執行する様度々陳情があるので、當局としては一日も早く工事にとりかゝりたいのは山々であるが、此の計畫線全部の工程を完成する迄には、土地を無償で寄附するものとしても、參拾萬圓を要す

る見込で、向後十ヶ年繼續事業としても年額參萬餘圓を要することとなる。然るに本年度は僅かに七八千圓の土木費を捻出して七線を開鑿したに過ぎず、目下の所之に充當する財源も乏しく、其の儘では初期の目的を達成する事は到底困難であるから、之が事業の遂行を期するには起債の外はなからうといふのであるが、政府の方針としては今のところ教育費の外は起債は許可せぬ事になつて居り、現に市は八拾萬圓内外の負債を持つてゐる關係上到底之れ以上起債の財源の基礎もないので、政府が許可するか否かは甚だ疑問である。一方市としては上下水道其他緊急施設を要する事業が澤山あるので、事業遂行上尠からず困難してゐる模様である。

大分縣の土木事業費

大分縣に於ける大正十五年度土木費豫算は經常費四拾四萬貳千九拾七圓、臨時費拾

萬貳千參百貳拾參圓合計五拾四萬四千四百貳拾圓である。全國四十七縣の同年の土木費は各總豫算額に對する歩合總額、最高は徳島縣三割三分八厘で、最低は大分縣の五分八厘に比して大分縣は一割二分六厘で、第三十四番目に當る。大分縣は先年松村知事時代に於て極度の緊縮方針を執る事になつたので、繼續事業の如きは一切打切つた結果他府縣に比して臨時費が非常に減少してゐる、この様に多年事業を中止してゐたので事業を施す箇所が舊に倍し、現に縣道であつて事業を中止されたものが凡そ七拾萬圓及新に縣道を改築するものが凡そ壹百萬圓あつて、此等は縣下の交通上緊急を要するものであるが、明年度果して幾許の事業費が計上されるか注目されてゐる。

組織された春日

大江間縣道改修促成會

熊本市本山本庄の有志家三百餘名は、縣

道春日大江間改修促成會を組織し過日發會式を行ひ左の諸件を議決した。

一 大江、熊本停車場線縣道改修の促成を期する事

一 運動は飽迄政黨政派を超越し純市民的立場より市を動かし相當權威ある決議を以て縣に迫り目的を貫くべく運動を繼續すること

一 本路線改修の上は速に市電を敷設すべく改修問題に關連して市としては電車敷設の計劃を樹つべく努むること

右路線は本山町西端から東走した幅十間の縣道であつて本山本庄を貫通し大江町で本山縣道に合する、延長千五百間工費八拾八萬圓の幹線道路で沿道の繁榮を計る上に於て喫緊事として會員一同の意氣旺んであつて何れも滿場一致拍手を以て迎へられ和氣囂々裡に散會した

新に設定する福岡市道路網

福岡市の道路網設定に就ては縣都市計劃課と市當局との間に意見の懸隔があつたので是が折衝に暇取つたが、最近に至つて縣都市計劃課が讓歩して市の意見に同意したので、近く内務省に内申する筈である。福岡市の道路は現今十間幅のものが最も廣いのであるが、新計劃の道路網では十二間、十三間半及十五間幅のものもあつて、十三間半の道路と十五間幅の分には街路樹を植込む事になつてゐる、彼の博多驛から吳服町電車交又點を経て一直線に築港濱に通ずる幹線は十五間幅の豫定で是に街路樹が繁茂した曉は博多驛から吐き出された人々に如何にも大都市らしい氣分を直感させるに相違ない、現今では驛から吳服町迄は十間幅あるが、其れから濱迄は三間内外に過ぎないので沿道住民も是が擴張の急務を痛感してゐるから十五間道路の實現は博多驛吳服町より却つて吳服町から濱側に至る間の方が先になるであらうと謂はれて居る。

吳服町東大橋間道路鋪裝

工事と太宰府道路鋪裝

三年來の懸案であつた福岡市吳服町より東大橋に至る國道十間幅延長百九十間の路面のアスファルト鋪裝工事は總工費參萬六千圓中壹萬四千餘圓だけ地元にて負擔に決し九月十七日から愈々起工したこれが完成すれば天神町から萬町迄百六十六間を工費貳萬五千圓で鋪裝する豫定である然し道路鋪裝の成績は、大阪以西では福岡市が首位である。

尙大宰府神社では明年一千廿五年祭を執行するので祭典日迄には縣費を以て同町内路面の鋪裝を實施することとなつたが工費は貳萬參千餘圓で、中央を石塊鋪裝となし兩側は、新式砂拔濕凝土鋪裝と、するさうである。

門司下關間の海底電話

廣島熊本兩遞信局連繫事務として計畫中の門司下關間海底電話線五十一回線のケーブル敷設工事はいよいよ今月下旬本省から敷設船が廻航、工事に着手することになつた、開通は年内の見込で五十一回線の中十回線を直に使用し残る線は故障時の豫備線にあてゐるのであるが、その結果従來關門間の二十一回線が三十一回線となり同區間は市内電話同様の早さで通話が出来るやうになり又門司下關を中心とする附近の市外通話も著しく待合せ時間が短縮されると云ふ。